

経営比較分析表（令和2年度決算）

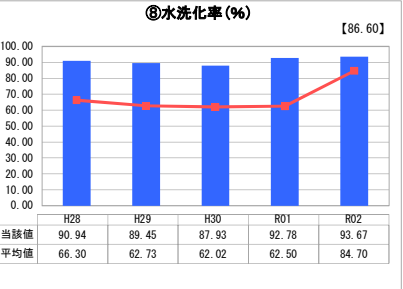
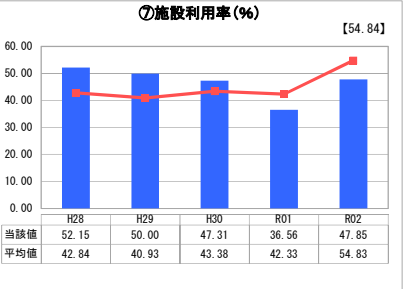
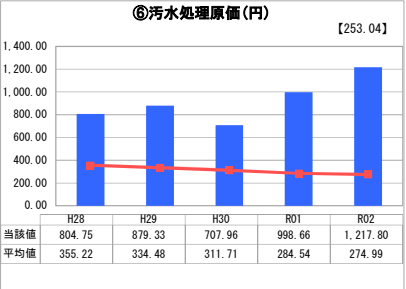
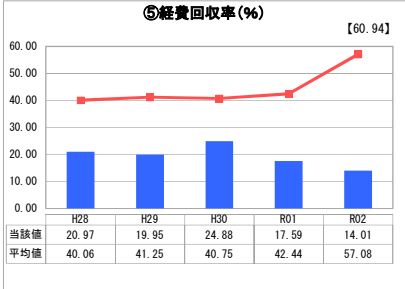
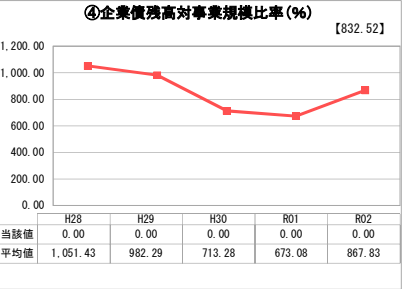
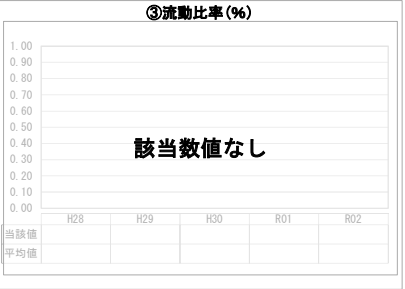
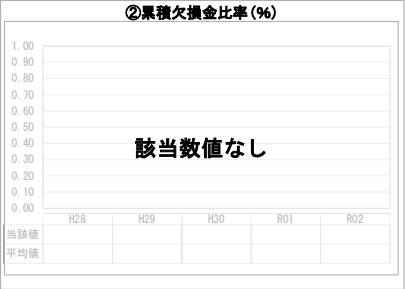
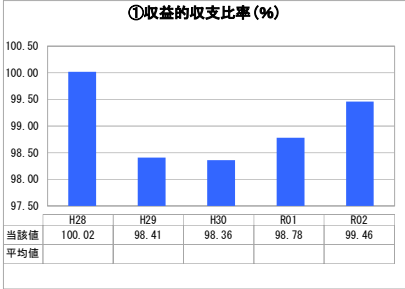
佐賀県 玄海町

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用      | 下水道事業       | 農業集落排水 | F2     | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円) |
| -         | 該当数値なし      | 8.56   | 100.00 | 3,520                          |

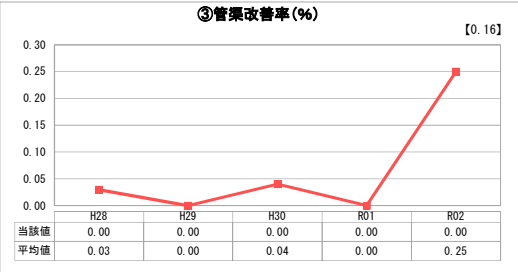
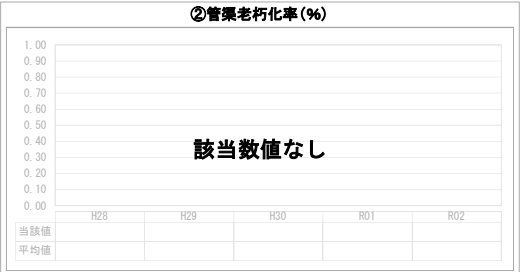
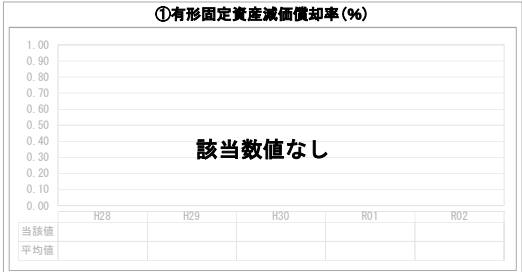
| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 5,406      | 35.92                    | 150.50                        |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 458        | 0.21                     | 2,180.95                      |

| グラフ凡例          |
|----------------|
| ■ 当該団体値（当該値）   |
| — 類似団体平均値（平均値） |
| 【】 令和2年度全国平均   |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率が、平均値57.08%に対し、14.01%と大きく下回っており、使用料のみでは経営が全く成り立っていない状況となっている。

また、汚水処理原価は、平均値274.99円に対し、1,217.8円と平均値を大きく上回っており、有収水量に対し、維持費が過大に発生している現状である。

このため、令和5年度からの企業会計移行にあわせ、料金も見直す予定だが、増額は住民負担を強いることとなるため、料金の賦課方式（現在は人頭制）も見直す予定である。

現状としては、引き続き維持費を低減させるべく、計画的な修繕を行っている。

2. 老朽化の状況について

座川内浄化センターの併用開始が平成17年度、小加倉浄化センターの併用開始が平成18年度となっており、約17年経過している。

このため、計画に基づき修繕は実施しているが、間に合わず、施設のシステムエラーなど多く発生している状況である。

今後も計画的に修繕を実施し、大規模な修繕を未然に防止することで、少しでも費用負担を減らすよう努めていく。

全体総括

人口減や施設の老朽化が進む中、今後も使用料のみでの経営は不可能である。

このため、使用料の改定、計画的な修繕を進めていき、広域化・共同化に向けても検討を進めているところである。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。